

創 生

2007

～魂がふるえるとき時代は動く～



2008 年度 山口ブロック 会員大会 10月13日(土) 周東パストラルホール



本年度の山口ブロック協議会の会員大会は、岩国J Cの主観で周東町で行われました。萩のメンバーは片道約2時間半もかけて車で走り、ほぼ全員の顔が会場にありました。先輩方から受け継がれる伝統ですが事前の全登を当たり前とする杉山理事長、そして小橋副会長を輩出しているロムとして意識の高さを本当に誇らしく思いました。私は今年度、高山ブロック会長が1年を通して、今の時代に、JCマンとして社会に対して何をすべきか、ずっと問いかけてこられたと感じていたのですが、皆さんはどんな感想をお持ちですか？褒賞エントリーの事業もどれもすばらしい内容だと審査の際に思いましたが、結果として何を行ったかよりもどんな成果が直接社会や人に対してあったのかが青年会議所事業として優秀と評価されたように感じました。今現在社会は問題提議ではなくダイレクトな問題解決をJCマンに求めているのではないのかと思います。そして懇親会卒会式ですが、はじめに卒会者の一人として皆さんにお礼を申し上げます。当日は遠方にも拘わらず、最後までお付き合いくださってありがとうございました。笑い話ですが、私は事前に委員会メンバーの「何があってもいいようにしたいほうが・・・」の声に女性ですので、もし騎馬だったらハイヒールは危ない、スカートもだめだし、まして重たいし・・・なんて前日まで考えました。友人の女性会員は着物で来ていましたが、私は一番安全なストレッチ素材のパンツスーツに身を包んで参列しました。入場騎馬こそなくてほっとした矢先にステージ上からメンバーの頭上にフライング、悲鳴の間もなく人生40年で初めての胴上げをされました。抱えてくれた皆さん、落とさずにごんばってくださいありがとうございます！リバウンドしてごめんなさいね！杉山理事長はじめ、岩国へ参集した萩の同志は2次会以降も勢ぞろいで、私達は準備された企画にうるときたり、入会間もないメンバーが特に積極的に卒会者を敬ってくれたり、5名の誰もが魂が震える感動をいただきました。同じ思いがまた皆さんに巡りますように、感謝の心を込めてお礼申し上げます。

卒会者を代表して 総務情報委員会 宅野奈都子